

議会だより

みなみふらの



第4回定例会概要	2~3P
一般質問	4~5P
町長の行政報告	6~10P
教育長の教育行政報告	10~12P
委員会レポート	13P
臨時会・議会の動き・編集後記	14P

令和2年第4回定例会

令和2年12月16日～17日

令和2年第4回町議会定例会は、12月16日に招集され、会期を16日から17日までの2日間と決めた後、監査報告、行政報告、教育行政報告、議会運営委員会報告、総務常任委員会報告、議員派遣報告があり、1議員による一般質問が行われました。その後、第3回定期例会で決算審査特別委員会に付託された令和元年度各会計歳入歳出決算の認定について委員長より認定する旨の報告があり、報告のとおり認定しました。引き続き、工事請負契約の変更について他2件について審議し、原案通り可決しました。その後、一般会計及び5特別会計補正予算の計6件を審議の結果、原案のとおり可決し、第1日目を終了しました。

第2日目の12月17日は、条例の制定及び一部改正2件について審議の結果、原案のとおり可決した後、指

定管理者の指定について8件について審議し、原案通り可決しました。その後、議員提出による意見書案1件についても審議の結果、原案のとおり可決し、全ての日程を終え、定例会を終了しました。

万円」から「43万円」に改正するものです。

条例の制定

○租税特別措置法等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

延滞金の率を準用している次の3つの条例について一括改正（文言の整理）をするものです。

・公法上の収入徴収に関する条例

・南富良野町後期高齢者医療に関する条例

条例の一部改正

○南富良野町国民健康保険税条例

保険税の軽減判定所得の見直しにより基準額を「33

一般会計補正予算の主なもの

・町有施設解体工事

△127万円

・まちづくり応援基金積立

900万円

・旧金山小学校体育館改修工事

2370万円

・介護給付費訓練等給付費

576万円

・道の駅再編整備に伴う周辺環境整備委託料

1065万円

・東幾寅線整備事業に伴う改良工事

△155万円

・高等学校教員給

344万円

・高等学校教育振興会補助金

△120万円

・本部町親善交流事業負担金

△146万円

・地方債償還利子

△170万円

・職員人件費

△1623万円

～議決された意見書～

◆国土強靭化に資する道路の整備等に関する意見書

※議決された意見書は、議長名でそれぞれの関係機関に提出しています。

令和2年度各会計補正予算	補 正 額	補 正 後
一般会計	2881万円	45億0956万円
国民健康保険事業特別会計	325万円	2億9016万円
後期高齢者医療事業特別会計	△72万円	4214万円
介護保険特別会計	261万円	3億0333万円
簡易水道事業特別会計	△146万円	2億9099万円
公共下水道事業特別会計	△410万円	2億7741万円
合 計	2839万円	57億1359万円

令和2年第3回定例会で
決算審査特別委員会に付託
された令和元年度各会計歳
入歳出決算の認定について、
11月9日・10日の2日間審
査を行いました。

審査に当たっては、歳入
財源の確保と歳出経費の執
行状況及びその事業効果な
どを精査した結果、認定す
べきと決しました。



委 員 委 員 委 員 副 委 員 委 員
員 員 員 員 長 員 長
渋 大 酒 鹿 阿 中
谷 道 井 野 部 野
浩 重 年 重 修 博
岐 治 夫 博 一 司

決 算 審 査 特 別 委 員 会

■指定管理者の指定（8件）

公 の 施 設 の 名 称	指 定 す る 団 体	指定の期間
落合地区多目的センター	落合連合町内会	令和3年 4月1日 ～ 令和6年 3月31日
北落合除雪管理センター	北落合連合会	
金山地区コミュニティセンター	金山民主会	
下金山地区多目的センター	下金山自治連合会	
南富良野町町民体育館	特定非営利活動法人どんころ野外学校	
空知川スポーツリンクス	特定非営利活動法人どんころ野外学校	
かなやま湖スポーツ研修センター	特定非営利活動法人どんころ野外学校	
南富良野情報プラザ	特定非営利活動法人南富良野まちづくり観光協会	

■協定の変更（2件）

協 定 名	南富良野町特定環境保全公共下水道南富良野浄化センター他更新工事委託に関する協定			
協 定 の 相 手 方	日本下水道事業団			
協 定 の 締 結 日	令和元年6月25日		令和2年7月20日	
変 更 理 由	令和元年度～2年度事業分の精算による減額		令和2年度～3年度事業分の入札執行による減額	
協 定 の 金 額 (うち取引に係る消費税 及び地方消費税の額)	変 更 前	129,000,000円 (11,727,272円)	変 更 前	396,100,000円 (36,009,090円)
	変 更 後	118,800,000円 (10,800,000円)	変 更 後	371,900,000円 (33,809,090円)

■工事請負契約の変更（1件）

工 事 名	金山除雪ステーション建設に伴う配水管新設工事		
契 約 の 相 手 方	ソケイズ・有我特定建設工事共同企業体		
工 事 の 契 約 日	令和2年7月20日		
変 更 理 由	管路延長の縮小・橋梁添架部材の変更等に伴う設計変更による減額		
契 約 の 金 額 (うち消費税及び地方消費税の額)	変 更 前	113,300,000円 (10,300,000円)	
	変 更 後	110,997,700円 (10,090,700円)	

一般質問（要旨）

阿部 修一 議員



問 移動式破碎機の導入事業の内容は

答 木質チップの生産・販売体制を強化し収益を目指す

①木質バイオマス事業について

阿部 本事業については、

森林組合が事業主体となり

移動式破碎機を導入するこ

ととなっているが、この事

業の内容及び進捗状況につ

いて。また、本事業により

本町での林地未利用材の利

用推進及び富良野沿線各森

林組合等における本機械の利

用状況、及び林地未利用

材等の処理の活用にどのように寄与できているのか伺う。

とともに、森林所有者の収益も目指していくというものです。

現在の進捗状況については、森林組合では10月8日に移動式破碎機の売買契約を締結し、明年1月末までに納品される予定のこと

である。導入する機種はク

ローラー式の切削チップ用

であり、契約金額は748

0万円（税込）で北海道と町

からそれぞれ3400万円の補助を受け、組合の自己

資金は680万円である。

導入後は、町内においては林地未利用材を処理して

年間4200立方メートル、

富良野地区森林組合区域で

は6000立方メートルの木質チップを生産し販売す

る計画となっており、約3

千万円の販売収入を見込ん

でいること説明を受けているところである。

昨今の木材需要が低迷し、

加えてコロナ禍という厳しい経済環境の中で、林産業

振興をはじめ森林組合の経営安定と森林所有者の経営

意欲の維持を図るために、以下の経済状況においても需

要が安定している木質バイオマスの事業展開を支援していく必要があるとの判断による支援している事業である。

春に実施した事業の

②地域応援券事業の実施状況について

阿部 春に実施した事業の利用状況については、95.9%

%との報告を受けているが、

この秋に実施した事業につ

いては、新型コロナウイルスの影響によるG.O.T.O.

事業の縮小や変更によって、

事業の推進が大変厳しいと思われるが、現在の進捗状況は。

また、利用状況が低迷した場合には最終的にどう考

えておられるのか伺う。

町長 地域応援券の配布に

ついては、11月5日と6日に町内各地区で同時に配布

させていただき既に完了して

おり、利用状況は12月4日現在で、応援券発行総額

2399万円に対し836万8千円が利用されている。

利用期限は第1弾の実施結果を踏まえ、十分な利用期間を確保するため令和3年

3月20日としている。

第2弾の地域応援券事業については第1弾の実施結果

オマスの事業展開を支援し、町民皆様のさ

らなる利便性の確保とサービスの充実、飲食店ではテ

レードブル企画実、年末のオードブル企

など特に幾寅地区以外の皆様にもご利用いただけるよ

う、様々な工夫を実施して

いくことで商工会が主体的に取り組んでおり、町とし

ても連携を図りながら本事業の効果を高めるべく町民

皆様の積極的な利用を要請

していく。

利用期間の設定は3月20日となっているが、コロナ

の状況などを見ながら3月末まで延長ということも

検討していくべきたい。

新型コロナウイルスに負けず町内のお店を利用しましょう!!



南富良野町のお店で買いましょう!! 食べましよう!!

新型コロナウイルスに負けず町内のお店を利用しましょう!!

南富良野町地域応援券事業を実施します。

町民1人あたり10,000円分の商品券（応援券）を交付します。（500円券×20枚）

①町内の全てのお店で使用できる地域応援券 7,000円分（水色）

②町内の飲食店のみで使用できる飲食店応援券 3,000円分（オレンジ）

※交付対象は令和2年1月20日現在で南富良野町に住所を有している方が対象です。

応援券利用期限 令和3年3月20日（土）まで

お問い合わせ先 役場企画課商工観光係 ℡: 52-21115

南富良野町商工会 ℡: 52-2605

③保養センターの今後の運営について

阿部 保養センターの今後の運営や実施内容については、まだ確定していないという報告であるが、今後はどうのように推進しようとするのか伺う。

町長 現在、第三セクター法人である株式会社南富良野町振興公社が指定管理者になり運営をしているが、保養センターについては振興公社以外の民間への指定管理に移行することを目指すことになっており、それができるまでは営業形態を見直すなどのコスト削減に務め、振興公社が引き続き管理運営をすることになります。つまりのみの宿泊特化型といっている。

今般、町のホームページ等で保養センターの管理運営について提案を募ったところ、町内から2件の提案があり、今後、提案の内容について聞き取り調査を行う



④今後の町の行財政について

阿部 現在、5年間の財政シミュレーションを策定し、諸ニーズや課題解決のため努力いただいていることに対し、敬意を表します。し

とともに、引き続き保養センターの管理運営について町内外から広く提案を受けるべく情報収集に努めていきたい。コロナ禍で時間がかかる状況にご理解いただき、来年度についても取りあえずは振興公社の中で管理をしていきながら、進めさせていただきたい。

かし、地方交付税の増額も見込めない中では自立した自治体運営をどのように推進するかは大きな課題であり、このよくな時こそ的確な計画樹立とそれに見合う財政シミュレーションの策定が必要と思われるが、具体的な施策の考えがあれば、それらを含み伺う。

町長 計画樹立という点について、町の最上位計画

について、過疎計画等についても随時必要な見直しを行なながら、平成30年度から5か年で策定した財政シミュレーションに反映しているところである。

諸課題への対応については補助金や有利な起債など財源の確保を行いながら事業の取捨選択を行いつつ、バランスの取れた財政運営を行う必要があり、経常経費の縮減、職員の定員管理、起債償還額を超えた新たな借り入れを行わないなどの取組を現在行っているところである。新型コロナウイルス対策など諸情勢を適切に踏まえながら、基金に依存しない財政運営の構築を最終的に捉えて十分協議し、持続可能な財政運営の確立と町財政の適正規模への移行が図られるよう、今後も努めていきたい。

阿部 今第5次総合計画があと2年で満了し、次は第6次の計画樹立になるとそれらを含み伺う。

町長 計画樹立といふ点においては、町の最上位計画である第5次総合計画を基本として、過疎計画等についても随時必要な見直しを行なながら、平成30年度から5か年で策定した財政シミュレーションに反映しているところである。

諸課題への対応についての皆さんにも相談をして最終的に第6次総合計画をつくっていくことになろうかと思う。その中で国の財政出動がとんでもないことになつており、そのしわ寄せが町村にあるいは自治体にあるいは国民にどういう形で跳ね返つてくるのか一番心配しているところで、町の財政の6割、7割というのは地方交付税であることから、その推移というのはしっかりと見ていかなければならなく、そういう心配の中で第6次総合計画をどう



それの分野において全部が全部総合的にやつていくことにはならないと思うが、やはり重点的にこれはぜひともやっていかなければなりないという、少子化であるとか定住人口増であるとか、それにはもちろん財政の規律をしつかりと踏まえた中で、先は読めませんが非常に厳しくなっていくのだろうという想定の中で、着実にまちづくりを進めていくような財政を考えながら政策をしつかりと第6次に盛り込んでいくということになろうかと思う。事務方としてそのように理解をしているところです。

町長の行政報告



■新型コロナウイルス感染症対策等について

新型コロナウイルス感染症につきましては、依然として全国の都市部を中心に、老人福祉施設や医療機関、接待を伴う飲食店などで集団感染の報告がされており、北海道内においても札幌市を中心とする感染者が増加しているほか、上川管内においても旭川市内の医療機関で大規模な集団感染が発生するなど、全道各地に感染が広がる傾向にあり、感染予防の徹底は引き続き継続しなければならない状況であります。

北海道では感染者の増加

いたしましても、町のホームページやチラシによりマスクの着用や手洗いの徹底など、住民の皆様へ協力をお願いしてきているところであります。また、役場や保健福祉センター、物産センター、各保育所、子育て支援センターを利用者の体温を測定するためサーモグラフィーカメラを設置し、さらなる感染予防の徹底に努めているところです。

保健事業関係であります
が、秋の集団検診「南ブミニドック」につきましては、10月21日から22日に、また、乳がん・子宮がん検診につきましては、11月17日から19日の3日間実施したところであります。マスクの着用、事前の体温測定や密にならないよう受診者皆様のご協力をいただき、感染予防対策を徹底し実施したところであります。

保健所関係ではコロナ禍

により警戒ステージを1から2へ引き上げ、さらに感染者の減少が見られないことから、現在はステージ3として集中対策期間を設定する中で感染拡大防止に努めているところであります。このことを踏まえ本町と

護者とのコンセンサスを得て、10月10日に金山保育所、10月24日に幾寅保育所でお遊戯会を開催したところであります。

金山保育所では演目数を減らし時間の短縮を図り、幾寅保育所では園児数が多いことから、クラスごとに時間を設定し各保育所とも入場者を保護者及び兄弟まで制限した上で、検温や手指消毒、開催中の換気など感染防止策を徹底する中で開催いたしました。

保健事業関係であります
が、秋の集団検診「南ブミニドック」につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染予防と同様でありますので、マスクの着用や手洗いの徹底にご理解とご協力を願い申し上げます。



■町立診療所で行つております季節性インフルエンザワクチンの予防接種について

厚生労働省が公表しているインフルエンザワクチンにつきまして、供給予定数は国内における過去5年間で最大の6300万人分となっておりますが、コロナ禍において接種希望者が増加しておりますとお聞きして

JR根室本線の災害復旧と路線維持をめぐる情勢について

JR根室本線の災害復旧についてであります。10月11日には赤羽国土交通大臣が本町を訪れ、平成28年度の豪雨災害により不通となつておますが、コロナ禍において接種希望者が

いるところであります。

町立診療所におきましては、例年10月よりインフルエンザワクチンの接種希望申込を実施しているところであります。コロナ禍において接種希望者が多く、予約者がワクチン入荷対応人数に達しましたので11月18日をもって予約受付を終了させていただいたところであります。

インフルエンザの感染予防につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染予防と同様でありますので、マスクの着用や手洗いの徹底にご理解とご協力を願い申し上げます。

島田社長の説明により視察が行われました。

その後、富良野市で本町を含む1市町村の首長、根室線の滝川市から新得町、富良野線の旭川市から富良野市のほか、富良野商工会議所、ふらの観光協会、旅館組合、ふらのバス、富良野タクシーなどが出席し、北海道運輸局主催で意見交換が行われました。

意見交換の中で本町からは「北海道の地域づくりを見据えて根室線の在り方を判断してほしい」と要望し、「町内でも道の駅再編整備や地域資源を活用したアドベンチャーツーリズムに官民挙げて取り組む中で、公共交通機関が果たす役割は重要だ」と鉄路の存続と復旧を訴えました。

意見交換終了後には、新聞でも報道されておりましたが、赤羽大臣は広大な北海道でJRが果たす役割の重要性を再認識され、地域の実情をよく勘案しながら、JR北海道と論議し適切に判断をしたいと述べられ、今後、JR北海道の経営ビ

■南富良野・手ぶらでアウトドアキャンペーン事業について

町と南富良野まちづくり観光協会で構成する、南富良野アウトドアキャンペーン実行委員会が主催の「南富良野・手ぶらでアウトドアキャンペーン」が、かなやま湖オートキャンプ場において10月31日、11月1日の1泊2日で開催されました。

この事業は、観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業」を活用したもので、町と包括連携協定を締結しているモンベル社、町内のアウトドア事業者、幾寅婦人会など多くの皆様にご協力をいただき、道内外から40組88人が参加されました。事業の内容につきましては、最低限のレンタル装備、災害備蓄食等の食材と知恵を生かし、たき火、人力移動術、サバイバル術などを体験するキャンプとなつており、初日はサバイバル登山家の講演や、たき火実践術を学び、キャンプで一夜を過ごし、翌日にはカヌー、ラ

フティング、ロードバイクなどのアウトドアアクティビティ体験をしていただきました。

今年はコロナ禍で3密を避けるため、キャンプなどの野外活動がブームとなり、この先のアフターコロナ期にもおいても、さらに活発化していくものと捉えております。

また、今回の事業は新型コロナウイルスに対応した

観光スタイルの試行でもあります。

今後、実行委員会では町民体育館でのキャンプイベントを計画しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視しつつ、判断したいと思っています。

この事業の開催に当たり、準備を含む多くの皆様のご支援とご協力をいただきましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。



手ぶらでアウトドアキャンペーン

■道の駅「南ふらの」の再編整備について

道の駅「南ふらの」の再編整備につきましては、1工区として位置づけしております。アウトドアショッピングストア、テラス、飲食テナントに関する部分の実施設計を現在行つており、去る11月20日に誘致しておりますモンベル社の会長と協議を行つてしまひりました。

今回の協議目的については、主に道の駅基本整備のまとめと、その他の意見調整であり、また、町議会とのコンセンサスを図るに当たり、懸念されている部分を解消すべく、その件についても協議を行つてしまひりました。

した。

初めに事業の持続性、継続性の件は、モンベル社との賃貸借契約を10年間の契約をすることでおおむね了承していただきました。

次に、事業費のふくらみ・

財源の確保の件は、縮減に向け事業内容及び事業費の精査や新たな建設財源の確保を図るため、地域再生計画を策定し企業版ふるさと納税の活用を検討しております。

個人のふるさと納税では

ポータルサイトの拡充と返礼品の拡大を行つていることを説明し、モンベル社からは、95万人の会員向けのふるさと納税サイトを現在構築している段階との回答があり、町では今後、モンベル社や関係企業に企業版ふるさと納税を提案していく考えであります。

次に、町の事業推進体制としては、令和3年度から工事を開始するに当たり、モンベル社との調整が多くなつてくることから、モンベル社より職員を派遣していただけないか、また、人件費の財源として総務省の地

域おこし企業人交流プログラム事業を活用し、3か年の派遣をお願いしたい旨説明をしたところ、前向きに検討しており人員も選考しているとの回答をいたしました。

たところであります。

また、実施設計を進めるに当たり施設規模など町の考え方、モンベル社の考え方のすり合わせを行つた結果、決定事項としまして、アウトドアショッピングの規模は、力ヌーや自転車、自転車を修理するピットを設置するなど全商品を展示し、当初屋外で考えていたクライングタワーは冬期間を考慮しショッピングの中に設置するため、建築面積を261坪とし、北海道の中でも1階フロアとしては最大規模で、シヨップの中にあるのは北

海道の中でも唯一となります。カヌー体験ができる池については、北海道の利用期間と冬期間の維持管理を考慮すると、夏季に簡易型ドーナツブールを設置しカヌー体験できるようにすることとし、レストラン内部

に道の駅の24時間トイレとは別に、レストラン利用者、テラス利用者、飲食テナント利用者のためのトイレを設置することいたしました。

農業経営者の高齢化や後継者不足をはじめ農業担い手不足については、本町のみならず全国的な課題として挙げられているところであります。私としてもこれまで

して開催する予定となつております。

本事業は令和3年度以降も継続していく予定でありますので、対象者の皆様の多くの参加をお願いいたしますとともに、本事業に対するご理解をよろしくお願ひ申し上げます。

■ ふらの農協の人参選果施設改修に伴う支援要請に

また、テラスの規模は64席とし、屋外通路の資材は北海道の冬期間を考慮し木の使用ではなく、擬木を使用することとし、ショッピングセンターなど内部の建設資材は、町内の道有林や町有林の地域材を使用することにいたしました。

町議会のご理解をいただき、農業振興を一丁目一番地として、新規就農者や後継者に対する育成支援をはじめ、鳥獣害防止施設や基盤整備など様々な農業振興対策に努めているところであり、今後も本町農業の安定、継続性を高めていくためにあらゆる角度から探求していく

レノトランの規模は6坪
44席程度と考えており、運
営については町で検討して

らゆる角度から探求していく所存であります。

まいります。
今後、レストランの運営、
飲食テナントの出店者など

案をいただいておりました
若手農業者、後継者の交流
を目的とする事業を明年の

課題は山積しておりますが、議会の皆様や町民の皆様の

2月に開催することで現在準備を進めているところで

ご意見をいただきながら解決してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご

あり、南富良野町営農推進協議会（町、農業委員会、農協、普及センター、共済組合

協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

各種生産組合)が主催となりまして、対象者は、40歳代以

■農業若手経営者及び後継者等の交流事業の開催について

者、後継者等で農業法人の社員など幅広く対象とし、意見交換会を主たる目的と

本事業は令和3年度以降も継続していく予定でありますので、対象者の皆様の多くの参加をお願いいたしますとともに、本事業に対するご理解をよろしくお願ひ申し上げます。

■新型コロナウイルス感染

産から新設備を稼働させたいとのことあります。

■ 新型二口ガウイルス感染症の感染拡大による林業への影響とその対応について

産から新設備を稼働させたいとのことあります。改修の内容は、選別工程にセンサーカメラを導入し、形状選別の精度を上げて製品の均一化を図り、併せて選別作業員の削減によるコストの削減も図ることで、総じて組合員所得の向上に努めるということであり、併せて施設の整備改修に当たり組合員の負担軽減をするため、ふらの農協より財政的支援の要請を受けたところであります。

町としましては本町を代表する基幹作物であり、また、ますます厳しくなつてきている農産物の販売環境への対策として本事業の必要性を理解し、対応をしてまいりたいと考えておりま

すので、ご理解賜りますよ

いて経済活動が大きな影響を受けているところであります。例外ではなく、特に本町の原木生産の主力樹種でありますカラマツにつきましては、輸出用の梶包材やパレット材に使用されているところであります。自動車関連の貿易物流が停滞するなどの影響により、本年春先から需要が著しく減少し、これに伴い原木の流通が停滞するなど、林業事業者や森林所有者にとりましては森林經營の先が見通せない厳しい環境となつてゐるところであり、この状況が長期化いたしますと林業従事者の雇用や生活にも大きな影響が出てくることも懸念されるところであります。

する対策などを検討し、林業経営の安定と雇用の確保に向けた取組に努めてまいります。

■町道の除雪について

本年度の町道除雪であります。住民皆様の除雪ニーズに対応するため、幾度を除く各地区につきましては、地域密着型の除雪体制により実施し、幾寅・東鹿越地区は、道路及び公共施設に分けて、業者の対応が円滑となるような除雪体制に努めているところであります。

除雪の出動は、おおむね10センチの積雪を目安に天候の状況や予報などを考慮して判断しておりますが、安全第一を最優先にし、悪天候時や夜間は除雪を行わないことにしております。また、幹線並びに歩道は通勤通学に支障がないように、午前7時までに除雪を完了するように努めておりますが、積雪の状況によっては遅れる場合があります。

この状況を踏まえ、11月25日には新たに旧金山小学校体育館を指定避難所として指定させていただき、避

近隣の方々の迷惑となりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、路上駐車をしている車両がありますと、作業を十分に行うことができず、

■指定避難所の指定及び防災訓練の状況について

本町の避難所につきましては、各地区の11か所を指定しているところであります。金山地区の避難所につきましては、金山地区コミュニティセンター、和楽園、ふくらの3施設を指定しておりますが、現在のコロナ禍における避難を考慮しますと、

当日は、新型コロナウイルス感染症が流行している

中での避難を想定した避難所運営訓練を行い、参加された地区住民の皆さんが実際にコロナ禍での避難について確認するとともに、避

難所の自主運営要領の実践体験を行ったほか、避難時の持ち出し品の点検などを

行つております。

町としましては、いつ起こつてもおかしくない災害対策においては、避難所として利用することは、避けるべきと考えているところであります。

また、沖縄県本部町親善交流事業が中止となりましたことから、本年度派遣予定であります小学6年生13名と本部町小学6年生15名が、双方方向によるオンラインによる鑑賞を行いました。

また、2学期中の各種行事等で

難所として最低限必要なトイレや流し台設置などの改修を行うべく、本定例会に補正予算を提案させていた

だいております。また、住民の方を対象とした防災訓練につきましては、11月6日に落合連合町内会の協力を得て、落合地区住民36名が参加し、水害を想定した実動訓練を実施しております。

金山地区の避難所につきましては、金山地区コロナウイルス感染症が流行している

中での避難を想定した避難所運営訓練を行い、参加さ

れた地区住民の皆さんが実際にコロナ禍での避難について確認するとともに、避難所の自主運営要領の実践体験を行つたほか、避難時の持ち出し品の点検などを

行つております。

また、沖縄県本部町親善交流事業が中止となりましたことから、本年度派遣予定であります小学6年生13名と本部町小学6年生15名が、双方方向によるオンラインによる鑑賞を行いました。

また、沖縄県本部町親善交流事業が中止となりましたことから、本年度派遣予定であります小学6年生13名と本部町小学6年生15名が、双方方向によるオンラインによる鑑賞を行いました。

また、沖縄県本部町親善交流事業が中止となりましたことから、本年度派遣予定であります小学6年生13名と本部町小学6年生15名が、双方方向によるオンラインによる鑑賞を行いました。

教育行政報告



ス感染症対策本部において、10月28日をもつて道の警戒ステージを1から2に移行することが決定されたことに伴い、小・中・高等学校保護者に対して注意喚起の文書を配付するとともに、学校内での感染予防の徹底を再確認いたしました。その後、11月7日には道の警戒ステージが3に移行したことににより文部科学省が定めた学校の行動基準に沿い、家庭内感染の予防を図るため、児童・生徒と同居する家庭に対しても毎日の健康

観察に協力をお願いし、同居する家族に発熱等の風邪の症状が見られる場合も、出席停止扱いとする措置を講じました。

2学期中の各種行事等であります。が、学芸会は学年ごとに観覧者を入れ替えるなどをして行い、例年、体育馆に小・中学生が一同に集まり実施しております。巡回小劇場につきましては、密を避けるために学校間においてズームを利用してのオンラインによる鑑賞を行いました。

また、沖縄県本部町親善交流事業が中止となりましたことから、本年度派遣予定であります小学6年生13名と本部町小学6年生15名が、双方方向によるオンラインによる鑑賞を行いました。

また、沖縄県本部町親善交流事業が中止となりましたことから、本年度派遣予定であります小学6年生13名と本部町小学6年生15名が、双方方向によるオンラインによる鑑賞を行いました。

また、沖縄県本部町親善交流事業が中止となりましたことから、本年度派遣予定であります小学6年生13名と本部町小学6年生15名が、双方方向によるオンラインによる鑑賞を行いました。

アス北海道を招いて「夢への挑戦と目標を持つこと」と題しての講演とバレー・ボールの実技指導を受けました。

現在各地で集団感染が新たに発生するなど、全道域での感染拡大が継続しており、3密を避ける行動・マスク・手洗い・消毒・換気といった基本的な感染予防対策の徹底を図り、安心して学び、学校生活を送ることができるように取り組んでいるところです。



■ 南富良野中学校及び高等学校の部活動等について

中学校部活動は新型コロナウイルス感染症により中止となりましたが、各競技団体ができる範囲での代替大会等を開催しており、陸上競技では、旭川市において第29回旭川ジュニア陸上競技選手権大会が開催され、2年生男子が走り高跳びで見事優勝し、10月4日釧路市で開催されました。

2020「中学チャレンジ陸上大会」では1m62cmを跳び、全道第2位の成績を収めることができました。

また、中学生6名が所属する野球部では、他の3校との合同チームとして富良野地区新人戦で準優勝となり、10月10日旭川市で開催された「第5回道北地区中学校軟式野球大会新人戦大会」に出場いたしました。1回戦で旭川地区代表と対戦し、2対2の引き分けで大会規定により抽選となり、残念ながら負けてしまいました。旭川地区代表との対戦で引き分けたことは、生徒には

大きな自信になつたと聞いております。

次に、3年生15名が内閣府や文部科学省が後援している「全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクール」

に応募いたしました。このコンクールは、リズムダンスを通じて豊かな人間性の育成や体力の向上を目指すとともに、学級の仲間との結びつきを強め、学校教育を活性化することを目的と

しています。ダンスが得意な生徒だけが出場するのではなく、学級単位で参加することにより、クラスが一丸となり協力し合うことが大会の特徴となっています。

応募結果は、ダンスの表現力やチームワークなどで高い評価を受け、中学校の部で北海道代表校に選ばれました。全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため事前収録の映像で12月26日に審査があり、その模様はインターネットで配信されることとなつており、中学生の新しい挑戦を応援してまいります。

次に高等学校の部活動で

あります、去る9月20日に滝川市で開催されました第7回北海道力ヌースプリント短距離選手権大会に3年生女子1名が登場し、一般女子の部カヤックシングル200mで第2位の成績を収めました。

また、10月4日に苦小牧市で開催されました第24回北海道ジュニアカヌースプリント選手権大会に、3年生女子1名、2年生女子1名が登場し、カヤックシングル500mで3年生女子が優勝、2年生女子も第3位の成績を収めました。本大会は、高等学校の部活動の全国大会の代替として開催される地方大会を兼ねて開催されるものであり、優勝した生徒には北海道知事賞が贈られました。

グル500mで3年生女子が優勝、2年生女子も第3位の成績を収めました。本次大会は、高等学校の部活動の全国大会の代替として開催される地方大会を兼ねて開催されるものであり、優勝した生徒には北海道知事賞が贈られました。

■ 南富良野高等学校における事務事業について

南富良野高等学校の進路状況については、11月末現在、卒業予定者20名中、進学は14名で、専門学校には9名が合格し、国立大学並びに私立大学への進学希望者5名はこれから受験となります。就職は6名で全員が内定しており、うち4名が介護サービス施設に内定、そのうち2名が町内の社会福祉法人に内定しております。そのほか町内への就職が1名、道内民間企業へ1名が内定となつております。

による検診、視力・聴力検査、並びに適性検査を実施いたしました。

令和3年度は、南富良野小学校では23名の該当児童がおり、平成26年度開校以来、初めて20名を上回る入学者となり、総児童数は本年度76名が89名となる予定であります。また、南富良野西小学校では5名の該当児童があり、総児童数は本年度19名が21名となる予定であります。

国立大学並びに私立大学への進学希望者に対しましては、一人一人の進路実現に向けて、引き続き、きめ細かな指導を行つてまいります。

次に、南富良野高等学校

では札幌国際大学と相互の授業交流や施設などを利用できる高大連携協定を結んでおり、これまでカーリング部の強化指導などで連携してきておりましたが、より一層の連携を図るべく、来年度から本町のアウトドア資源などを活用した「地域学」においても連携することで協議を進めています。

去る11月9日にはその前段として、札幌国際大学の教授を招き、「南富良野町のスキー観光について考える」と題し、2時間の講義を受けました。北海道や南富良野近郊のスキー場の歴史や観光業の変容等の講義と、本町のスキー場をどう発展させるか、現状の強みや弱みなどを踏まえて、生徒たちがアイデアを出す授業を行い、生徒からは「南富良野町の未来の可能性を考えるよい機会となつた」という感

想が出され、来年度以降も継続して実施することにより、生徒たちの課題解決能力を育んでまいります。

■南富良野産給食の実施について

南富良野学校給食センターの新しい取組として、10月16日に町内で取れた新鮮でおいしい食材を使った新給食「なんぶ産給食の日」を実施いたしました。



なんぶ産給食の日（南富良野小）

を行ふとともに、生産農家を招き試食会を実施いたしました。

ご協力いただきました農家等関係者の皆様に感謝を申し上げますとともに、引き続き学校給食センターの取組にご理解いただきますようお願いいたします。

■イトウに関する調査報告について

本年度実施したイトウに關わる調査は、かなやま湖上流の空知川水系の本流を含めた繁殖9河川で行い、豪雨災害から平成29年にかけ激減した、イトウの餌となるワカサギやウグイが災害後4年を経過し増加傾向になつたことから、イトウの親魚が成長できる環境となり、災害前と比べて昨年は57%、本年は88%と回復に向かつております。また、繁殖9河川のうち1河川において遡上親魚の全個体調査を行いました。この調査は、平成17年から継続的に実施しており、本年は調査を行いました。この調査開始以後最多となる94匹の親魚が確認され、内訳は雄が62匹、雌が32匹と雄が多く、さらに体長から推測すると5歳から6歳の個体と思われ、稚魚期からの生存率が高かつた年級群であると判断でき、水系全体のイトウ生息数に大きく寄与していることが考えられます。

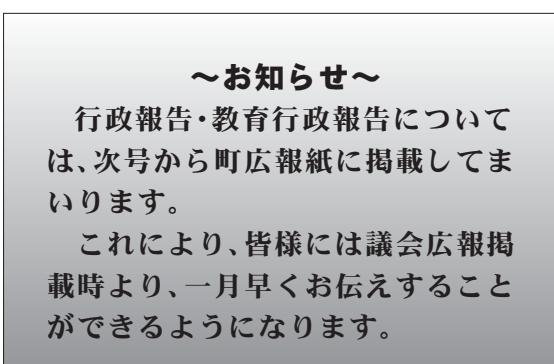
イトウの保護活動としましては、イトウの産卵床の掘り起こしなど生態系に悪影響を及ぼしているニジマスの駆除並びに釣り客に対する捕獲自粛の周知などを引き続き行つてまいります。

～お知らせ～

行政報告・教育行政報告について
は、次号から町広報紙に掲載してまいります。

これにより、皆様には議会広報掲載時より、一月早くお伝えすることができるようになります。

また、10月下旬から11月上旬において実施した、今年生まれた稚魚の生息状況調査では、平成23年からの調査以降、2番目に多い数を確認できたことから、4年後から8年後のイトウ産卵数に大きく寄与することが期待できる状況であります。



委員会レポート

総務常任委員会
委員長 大道 重治

■道の駅再編整備計画について

9月4日の総務常任委員会以後について所管課から次のとおり説明があつた。

実施設計委託業者については、10月13日に3社での指名競争入札を実施した結果、株式会社柴滝建築設計事務所に落札決定した。契約金額は3762万円（税込）である。

また11月20日には、道の駅基本整備計画のまとめ、その他意見調整を目的にモンベル社辰野会長との協議を柴滝建築設計事務所と一緒に実行つてきている。懸念されている部分として、事業の持続性・継続性については、賃貸借契約を10年間とすること。事業費のふくらみ。財源の確保については、縮減方向で事業内容及び事業費を精査し、新たな建設財源の確保として、企業版ふるさと納税サイトの拡充を行つていていること。事業の

推進体制については、総務省の地域おこし企業人交流プログラムを活用し、モンベル社から職員を派遣してもらい、業務に従事してもうことについて協議を行つた。さらに実施設計を進めるに当たり、アウトドアショップの規模、24時間トイレの位置、テラスの規模、屋外通路、レストランの整備・運営、池、建設資材、飲食テナント等について施設規模などすり合わせを行つてきている。

委員からは、子供たちの遊具の設置は計画にあるのか。人事交流についてモンベル社の合意はされているのか。農産物直売所の運営をしつかり検討してほしい。道の駅としてのコンセプトが見えない、プランをしっかり作つてほしい。万が一モンベル社が撤退した場合の担保はされているのか。レストラン運営・飲食テナントの出店に対する具体的な検討が足りない。それぞれのパートごとに同時進行でしっかりと進めほしいなど意見があつた。

議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会が年4回(3月・6月・9月・12月)開かれ、そのほか臨時会が必要ある時に開かれます。

町政の運営状況や議員の活動状況を知るよい機会ですので、議会を傍聴してみてはいかがでしょうか。

**次の定例会の開催予定は
3月11日～19日です。**

会議中継映像をインターネット(ユーチューブ)で動画配信しています。生中継と録画配信をしておりいつでも視聴できますので、ぜひご覧ください。



※ 定例会等の日程や議会だよりなども町のホームページからご覧いただけます。

<http://www.town.minamifurano.hokkaido.jp>

○南富良野町長等の給与に関する条例
議会議員及び特別職の6月と12月に支給する期末手当の支給率を、合わせて100分の5月引き下げる改正です。

○南富良野町職員の給与に関する条例
人事院勧告に基づき、期末手当の支給率を引き下げる改正です。

○南富良野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
準用する町職員の期末手当の支給割合について、特例措置を設ける改正です。

令和2年第3回

臨時會

11月17日

議会の動き

令和2年11月～令和3年1月

- 11月 3日 ○南富良野町功労者表彰式

9日 ○決算審査特別委員会

～10日

12日 ○上川町村議会議長会臨時総会
(旭川市)

17日 ○南富良野町議会第3回臨時会
○議会運営委員会
○全員協議会

29日 ○南富良野ジ ュニアーリング 大会開会式

12月 3日 ○総務常任委員会
○全員協議会
○決算審査特別委員会

- 10日 ○議会運営委員会

16日 ○南富良野町議会第4回定例会

～17日 ○議会運営委員会
○全員協議会
○総務常任委員会
○決算審査特別委員会
○議会広報特別委員会

22日 ○南富良野町商工会会長他来局
(令和3年度市町村補助金に関する
要請)

1月6日 ○南富良野町新年交礼会

10日 ○南富良野町成人式

今年は南富良野町として
は荒天に見舞われることも
少なく、穏やかな冬となっ
てはいる一方で、各地では記
録的な大雪となり、大規模
な交通障害が起きたなど、
大自然の驚異を感じさせら
れました。

られない状況ではあります
が、ワクチンの開発・治験が
進み、日本でも春には高齢者
への接種が開始されよう
としています。

2019年11月に発生した新型コロナウイルスの感染症は、世界各地で猛威を振るつており、世界経済は大きく落ち込み、日本でも国内消費が広く抑制されるなど、ますます景気下押し効果が強まることが懸念されています。

編集後記

これまで議会広報で掲載しておりました定例会時での町長からの行政報告、教育長からの教育行政報告については、次号から町広報紙に掲載してまいります。これにより、皆様には今までより、一月早くお伝えすることができるようになります。

議会広報が議会と町民皆様をつなぎ、見やすく分かりやすい紙面づくりになります。また、引き続き努力していきますので、町民皆様のご意見等をお寄せいただきますようお願いいたします。

議会広報特別委員会
委員長 中野 博司
副委員長 渋谷 浩岐
遠藤 遼一
鹿野 謙一
酒井 重博
阿部 年夫
大道 修一
重治